

福島小だより

学校通信

めざす児童像：よく考え 心やさしい 元気な子
令和2年12月1日 第10号



甘楽町立福島小学校
校長 中島 剛

○師走を迎えて ～経験したことのない1年でした～

冬の本格的な寒さを感じられるようになってきた今日この頃です。今年も残すところ、あと1ヶ月となりました。昔から12月を師走と呼びますが、「師走」の由来は、師(お坊さん)がお経をあげるために、いそがしく走り回る姿から生まれたそうです。年末が近づくと何かと慌ただしく、時間が早く経ってしまうように思います。

そんな12月、学校では感染予防に配慮しながら2学期のまとめに取り組んでいます。成果と課題をしっかりと振り返り、来年につなげていきたいと思っております。

今後ともご理解、ご協力をお願いします。

○人権講話 ～自分を守り、友だちを守る優しさを～

富岡人権擁護委員の7名の皆様を講師としてお迎えし、人権講話を行いました。1年生には紙芝居で「ずっと友だちでいたいから」、4年生にはパワーポイントで「白い魚とサメの子」の物語を話してくださいました。

子どもたちは物語を通して、命を守ることや自分らしさを見つけること、友だちと仲良くすることの大切さを学びました。また、いやな思いをしたら誰かに相談したり、勇気を出してはっきり言ったりすることの大切さにも気づきました。さらに、友だちに迷惑をかけてしまったら、きちんと謝ることで、よりよい関係になれることも学んでいました。



○修学旅行（6年生） ～2つの国宝を巡りました～

松本城では、たくさんの優れた建築技術を感じながら内部を登り、最上階の窓からは松本市内が一望できました。また、旧開智学校は、文明開化の時代に建てられた小学校建築を代表する建物ということで、和風と洋風が混ざり合った建築様式の校舎は、どこか懐かしさとともに、新しさを感じるものでした。

さらに、味噌蔵やわさび農場では、地域の特性を生かした食文化を味わいました。

子どもたちは、文化遺産や特産物に触れながら、友達同士で仲良く行動して楽しい1日を過ごしました。

